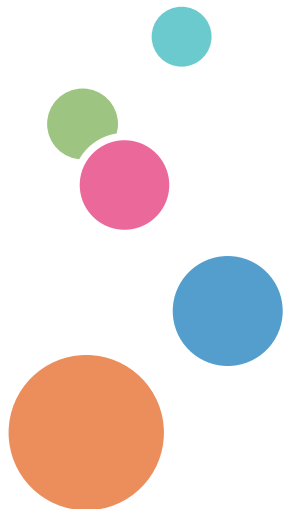




取扱説明書

安全上のご注意	1
はじめに	2
基本的な操作	3
各種設定のしかた	4
故障かな…と思ったときは	5
付録	6



ご使用前に、この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。
また、この取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。



もくじ 1

安全上のご注意 2

この本の読みかた	2
正しくお使いいただくために.....	2
本書についてのご注意	2

安全上のご注意..... 3

本機で使用している安全記号.....	3
表示について.....	4
守っていただきたいこと.....	5

安全に関する本機の表示 16

電源スイッチの記号.....	16
----------------	----

使用上のごお願い..... 17

本製品の取り扱いに関すること.....	17
お手入れに関すること	18
映像の著作権について	18

法律上の禁止事項..... 19

海外輸出規制.....	19
-------------	----

電波、高調波電流に関する事項..... 19

電波障害についての注意事項.....	19
高調波電流規格についての事項.....	19
電気通信事業法のセキュリティ対策に関する事項.....	19

廃棄について..... 19

はじめに 20

同梱品の確認.....	20
お客様でご用意いただくもの.....	21
本体各部の名称.....	22
入出力端子.....	23
本体操作部.....	24
360° 設置.....	25

基本的な操作 26

ストラップを取り付ける	26
充電する.....	27
接続する.....	28
電源の入れかたと切りかた.....	29
電源を入れる～HDMI接続.....	29
電源を入れる～iOS機器との接続（直接接	

続）.....	30
---------	----

電源を入れる～iOS機器との接続（ルーター経由での接続）.....	31
-----------------------------------	----

電源を入れる～Windows PCとの接続.....	32
----------------------------	----

電源を入れる～Android機器との接続（弊社サポート対象外の機能）.....	32
---	----

電源を切る.....	35
------------	----

LEDインジケーターによる警告表示.....	36
------------------------	----

投写映像を調整する.....	37
----------------	----

画面のピントを調整する.....	37
------------------	----

投写映像の大きさを調整する.....	38
--------------------	----

各種設定のしかた..... 39

メニューを使う.....	39
--------------	----

操作のしかた.....	39
-------------	----

メニュー項目一覧.....	40
---------------	----

メインメニュー.....	42
--------------	----

映像.....	43
---------	----

表示.....	45
---------	----

設定.....	47
---------	----

WiFi設定.....	48
-------------	----

ユーザーロゴ画面の設定.....	49
------------------	----

故障かな・・・と思ったときは..... 53

付録..... 57

対応信号一覧表.....	57
--------------	----

仕様.....	58
---------	----

本機の廃棄について.....	59
----------------	----

外形寸法.....	61
-----------	----

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報.....	62
-------------------------------	----

商標.....	62
---------	----

安全上のご注意



この本の読みかた

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。



安全上のご注意

安全上のご注意

安全に関する注意事項を説明します。

本機で使用している安全記号

	一般注意
	一般表示
	一般禁止
	分解禁止
	接地接続すること
	濡れた手で接触禁止
	電源プラグをコンセントから抜く
	電源コードを引っ張らない
	子供の接触禁止
	接触禁止

安全上のご注意



表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

安全表示の例です。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⊘の中に具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)



安全上のご注意

守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

使用環境について守っていただきたいこと

⚠ 警告



- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。



- 本製品とその付属品を幼児・子供の手の届かないところに設置・保管してください。幼児・子供の手の届くところに設置・保管すると、けがの原因となります。



- 機械の近くで可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。また、機械の近くや内部に置かないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。



- 本機の上にものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



- 雨天時、降雪時、水辺など、水がかかる恐れのある環境では使用・保管をしないでください。火災や感電の原因となります。

安全上のご注意



⚠注意



• 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くなど温度が高くなる場所には、使用・保管をしないでください。熱による外装の変形や劣化、本機内部の部品へ悪影響が起こり、火災の原因となることがあります。



• 使用中は近くに熱に弱いものを置かないでください。変形や事故の原因になります。



• 使用中、または充電中に本機に密着して本機をカバーしないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。



安全上のご注意

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠ 警告



• 本機には充電・給電用のACアダプターは付属していません。お客様でご用意いただく必要があります。USB給電用ACアダプター(以下ACアダプター)は5V 2A以上の出力があるものをご利用ください。また、ACアダプターの取り扱いにはACアダプターの取扱説明書を参照してください。



• 同梱されているUSB A-Cのケーブルは本機の充電および給電専用です。本機以外の電気機器には使用できません。万一紛失された場合は、5V 3A以上の充電が可能なケーブルを使用してください。不適切なケーブルを使用すると火災や感電の原因になります。



• 接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときは使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときはそのケーブルの使用を中止し、5V 3A以上の充電が可能なケーブルを使用してください。



• 延長コードやテーブルタップを使用するときは、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードやテーブルタップの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。



• 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠ 注意



• 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



• お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



• 電源コードや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。

安全上のご注意



本体の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠ 警告



- ・万一、煙が出ている、へんなにおいがあるなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて問い合わせメール窓口に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- ・万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて問い合わせメール窓口に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- ・近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。



- ・ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
 - ・本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。



- ・機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて問い合わせメール窓口に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- ・本機のバッテリーから漏れた液が肌に触れると、皮膚の炎症の原因になります。万が一触れてしまった場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。（目に入った場合はせっけんは使用しないでください）本機の使用を中止し、問い合わせメール窓口に連絡してください。



- ・本機に強い衝撃や圧力をかけないでください。機器の故障や、内蔵するバッテリーにかかる負荷で爆発の原因となることがあります。



- ・電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。内蔵するバッテリーにかかる負荷で爆発の原因となることがあります。



安全上のご注意

⚠ 注意



• 本機を他の機器に積み重ねたり、本機の上に他の機器を載せたりしないでください。本機内に熱がこもり故障の原因になるほか、他の機器へ悪影響を与えることがあります。



• 音声が出力される前に音量を上げすぎないでください。また、電源を切る前には音量を下げてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。



• 本機を長時間連続して（10時間/日を超えて）使用する場合は、あらかじめ問い合わせメール窓口にご相談ください。



• 本機の表面は最大48℃*まで上昇します。手持ちで連続使用する場合は適宜持ち方を変えるなど、低温やけどに注意してください。
*25℃環境にて

安全上のご注意



機械内部の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠ 警告



- 本製品の廃棄時におけるバッテリーの回収時以外は、カバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理は問い合わせメール窓口にご相談ください。
- 本機を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



- 機械内部の掃除について問い合わせメール窓口にご相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については問い合わせメール窓口にご相談してください。

手持ちでの投影について

⚠ 警告



- 本機を手持ちでの投影を行う際は、ストラップにより手首への固定を行ってください。投影中の落下等による破損、事故の原因となります。

本機の清掃について

⚠ 警告



- 本機に直接アルコールをつけたり、スプレーを吹き付けしないでください。アルコールによる清掃は本機が十分冷却していることを確認して、アルコールをつけたウエス等で拭いてください。清掃後十分に乾燥するまでは電源を入れないでください。火災や感電の原因になります。



安全上のご注意

天吊り・壁掛け設置について

⚠ 警告



• 本機を天吊り・壁掛け設置はしないでください。本機は天吊り・壁掛け設置が可能な設計になっていません。天吊り・壁掛け設置をした場合、落下による事故の原因となります。

- 本機の底面には三脚ねじ穴（1 / 4 インチねじ、1/4-20UNC）があります。このねじ穴は三脚などを使用して簡易的に固定するためのもので天吊り・壁掛けの固定用途には使用しないでください。三脚などで簡易固定する場合、転倒・落下に十分配慮して下さい。

安全上のご注意



バッテリーの取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠ 警告



• 本製品にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されています。本製品の廃棄時以外はお客様ご自身で分解しないでください。火災・感電・けがの原因となります。



• ごみ廃棄場で処分されるごみの中にバッテリーを捨てないでください。リチウムイオン電池は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」により、回収・再資源化が求められています。



• 本製品の廃棄時は取扱説明書に記載されている手順で、バッテリーを充電させたのちにバッテリーを外して、充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

• 本製品にはリチウムイオン電池が使われています。資源保護のため、不要になった電池は取り外し充電式電池リサイクル協力店までお持ちください。

• 本製品の使用電池
名称：リチウムイオン(Li-Ion)蓄電池
電圧：DC 3.7V

• 最寄りのリサイクル協力店についての詳細は一般社団法人JBRCのホームページをご覧ください。

<http://www.jbrc.com>

※ここに書かれていることは予告なく変更されることがあります。.



Li-ion00



安全上のご注意

光源について守っていただきたいこと

⚠ 警告



- 光源が点灯中はレンズをのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。特にお子様のいる環境では注意してください。

移動について守っていただきたいこと

⚠ 注意



- 本機を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認してください。コードやケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

安全上のご注意



無線LAN の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠ 警告



・無線LAN をお使いの前に、心臓ペースメーカーを使用した人が近くにいないことを確認してください。心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。



・無線LAN をお使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。



・無線LAN をお使いの前に、その場所での使用制約や禁止がないかを確認してください。医療施設内などの使用は制限されることがあります。



・無線LAN を使用中に他の機器に電波障害などが発生したときは、無線LAN を使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤作動により事故の原因となります。



・屋外での5GHz帯の使用は電波法により制限されています。屋外での使用の際には5GHz帯の使用設定を行わないでください。

無線LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発言する（改ざん）、コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するた



安全上のご注意

めのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

安全上のご注意



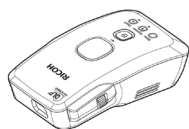
安全に関する本機の表示

本機に表示されている安全に関する情報です。

電源スイッチの記号

本機のスイッチに記されている記号の意味は以下のとおりです。

- ・  : オン/オフの切り替え



安全上のご注意

使用上のお願い

本製品の取り扱いに関すること

- 本製品を開梱したあとは、本書をよく読み、すべての操作手順およびその他の指示に従ってください。
- 極端に気温の高低差がある、あるいは湿度の高い場所で使用しないでください。
- 強力な磁場を発生する機器の近くで使用しないでください。
- 本機を持ち運ぶ際は以下の事項をお守りください。
 - 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 端子からすべてのケーブルをはずしてください。
 - 輸送する場合
本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。衝撃による故障を防止するために次の事項をお守りください。
 - 衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護してください。
 - お買い上げの際に本機がはいっていた梱包箱や堅固なダンボール箱に入れてください。
 - 精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。
 - 不明な点は運送業者にご相談してください。
- ゴムやビニール製品などの合成樹脂製品を長時間接触させないでください。外装が変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 本機を長時間連続して使用すると、故障や寿命を縮める原因となります。

安全上のご注意



お手入れに関すること

- お手入れをする前に、本機の電源を切ってください。
- 本体のお手入れには中性洗剤を浸したやわらかい布を使用してください。
- ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変形、変色、塗装がはげるなどの原因となります。
- 研磨剤入り洗剤、ワックス、溶剤を使用しないでください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。

映像の著作権について

次の行為は権利者に無断で行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

本機を使用するときは、著作者の権利を侵害しないよう注意してください。

- 営利目的で映像などを投写する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、フリーズ、部分拡大、ズーム機能などを使用して、映像などを改変する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、画面サイズ切り換え機能を使用して、映像などの縦横比を改変する行為

ファームウェア更新について

本製品のファームウェアアップデートサポート期間は製品終売後1年です。

更新を行う必要がある場合は製品公式ページにてご案内を致します。

なお、本体のMenu画面にファームウェア更新を行う機能がありますが、更新を行う必要がない場合は実行しないでください。



安全上のご注意

法律上の禁止事項

海外輸出規制

安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国により異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

電波、高調波電流に関する事項

電波障害についての注意事項

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

高調波電流規格についての事項

高調波電流規格 JIS C61000-3-2適合品

電気通信事業法のセキュリティ対策に関する事項

本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。

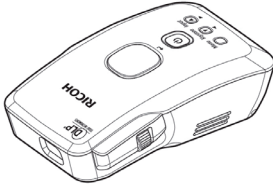
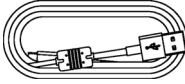

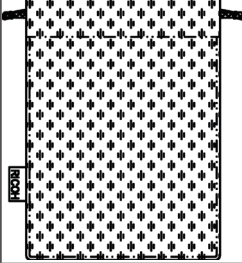
廃棄について

本機、および使用済み二次電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。



同梱品の確認

本製品には以下の同梱品が含まれます。同梱品がすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものがあるときは、すぐに問い合わせメール窓口にご連絡してください。

	
プロジェクター本体	USBケーブル (USB A-C)
	
ストラップ	ポーチ

- ・ マイクロ HDMI 変換アダプタ
(HDMI マイクロオス -HDMI メス)
- ・ クイックスタートガイド
- ・ 操作ガイド
(A4 判カラー両面、 1 枚)



お客様でご用意いただくもの

本製品をご使用いただくにあたり、以下のものをご用意ください。

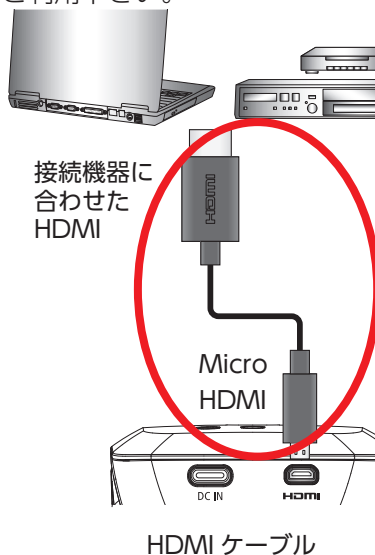
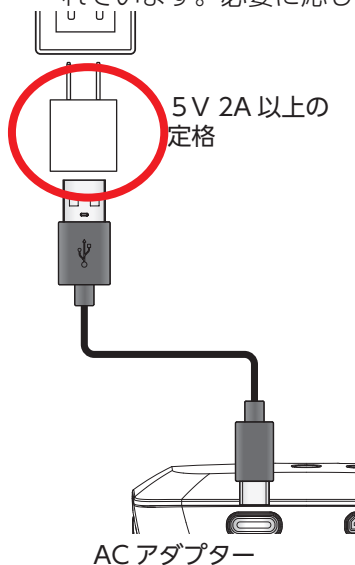
・ AC アダプター

USB TypeA の出力を持つ AC アダプターをご用意ください。内部のバッテリーへの充電、および投影時の電源供給を行います。

AC アダプターは 5V 2A 以上の供給能力のあるものをご用意ください。低出力の AC アダプターの場合、投影時の電源供給ができなかったり、充電時間が長くなります。

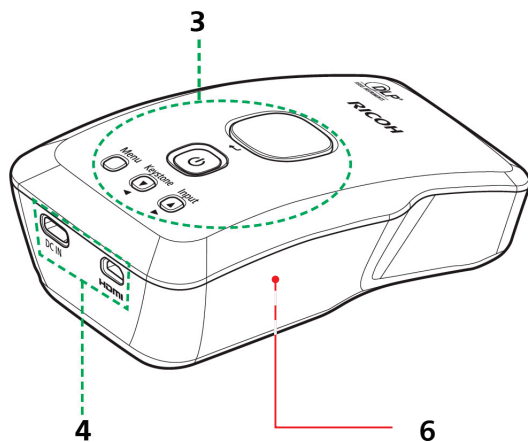
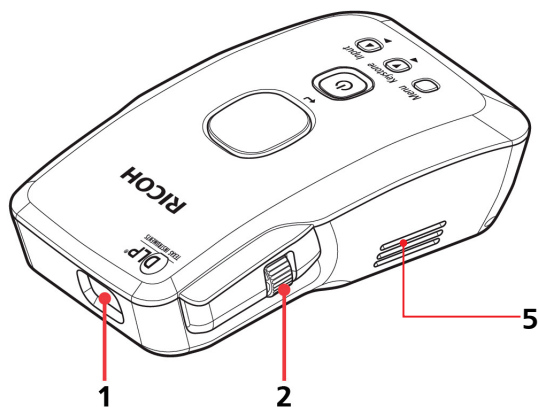
・ HDMI ケーブル

ImagePointer と外部機器を HDMI で接続するときには必要です。ImagePointer 側のコネクタ形状は Micro-HDMI です。ImagePointer と接続する機器の端子形状に合わせたケーブルをご用意ください。なお、Micro-HDMI に変換するアダプタ (HDMI マイクロオス -HDMI メス) が同梱されています。必要に応じてご利用下さい。





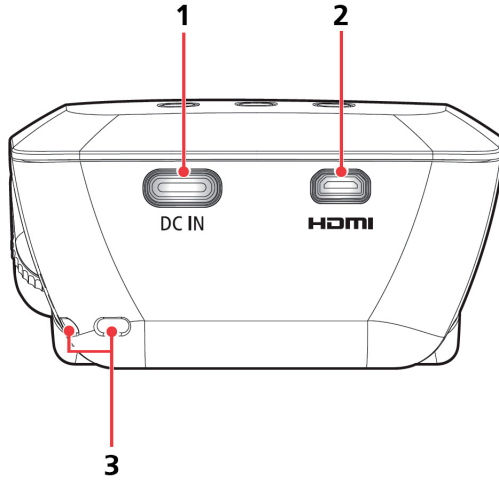
本体各部の名称



1.	レンズ本体操作部
2.	フォーカスリング
3.	本体操作部
4.	入出力端子
5.	スピーカー (内部)
6.	三脚ねじ穴 (底面、1/4-20UNC)



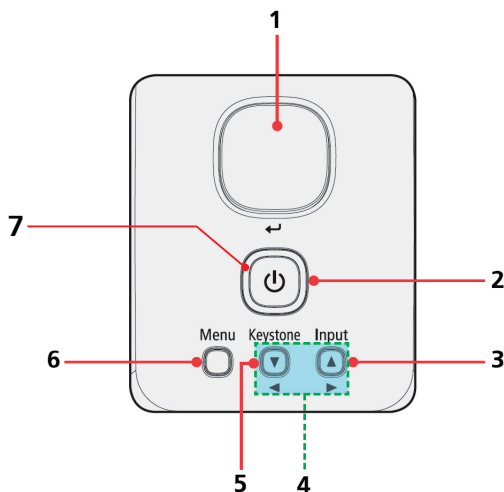
入出力端子



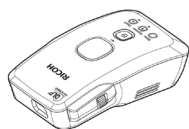
1.	タイプ C 端子 (AC アダプター用)
2.	MicroHDMI 端子
3.	ストラップホール



本体操作部



1.	投影 / 決定キー [↵]	投影の制御とメニュー中の設定の決定を行います。
2.	電源キー	「電源の入れ方と切り方」の章を参照してください (29 ~ 35 ページ参照)
3.	Input キー	入力切替を行います
4.	4 方向キー	▲、▼、◀、▶で項目の選択や調整をします
5.	Keystone キー	台形補正を行います。
6.	Menu キー	調整用のメニューを表示したり、メニューを一つ前の表示に戻したりします (39 ページ参照)
7.	LED インジケーター	ImagePointer のステータスを示します

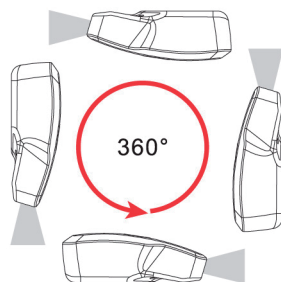
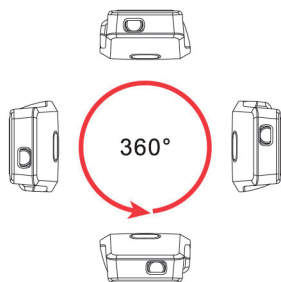


はじめに

360° 設置

本機は、360 度どの方向に向けても投影することができます。

- ・ プロジェクターは、プロジェクターおよびブラケットの全重量をサポートするのに十分頑丈である場所に取り付ける必要があります。(ImagePointer GP01 の重量は約 0.2 ± 0.02kg です)。
- ・ プロジェクターがブラケットにしっかりと固定されていることを確認してください。



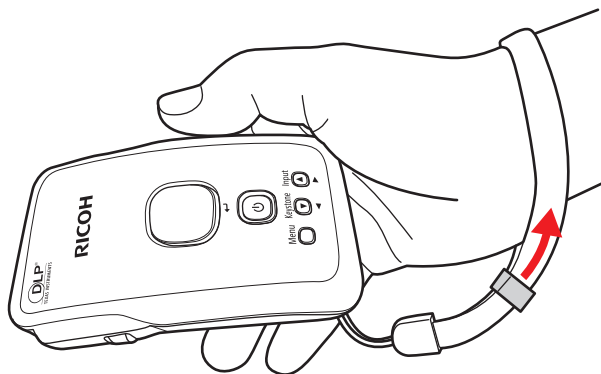
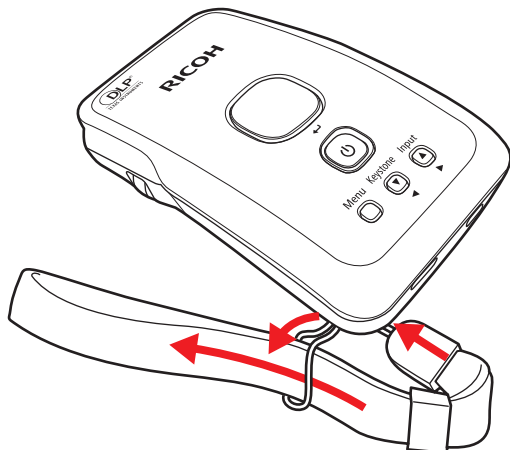


ストラップを取り付ける

手持ちで投影する場合、ストラップを本機に取り付けて、ストラップを手首に固定してください。



❖ 警告：本機を手持ちで投影を行う際は、ストラップにより手首への固定を行ってください。投影中の落下等による破損、事故の原因となります。





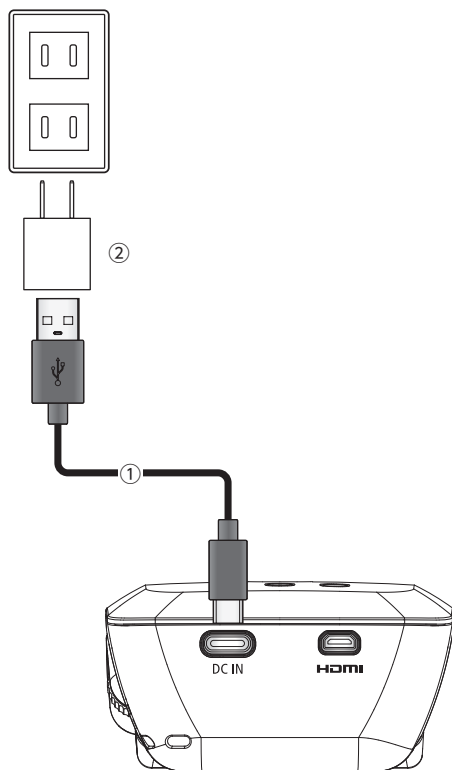
基本的な操作

充電する

最初に使用する際には、バッテリーを充電してください。

補足

- ❖ ACアダプターのプラグが、壁コンセントに完全に差し込まれていることを確認してください。
- ❖ ACアダプターから本機の電源用タイプC端子まできちんと接続ができていないか確認します。
- ❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。
- ❖ (*) USB A出力のACアダプターをお客様でご用意ください。ACアダプターは5V 2A以上の出力を持つものをご使用ください。



- 1.....USB-A-USB-C ケーブル (同梱品)
- 2.....AC アダプター (*)

- ❖ 接続を行うと、ImagePointerの内蔵バッテリーに充電が開始されます。電源ボタンの周囲のLEDインジケーターは赤点滅を行います。
- ❖ 充電が終了するとLEDインジケーターは消灯します。
- ❖ 充電が終了したら、ACアダプターを壁コンセントから外してください。

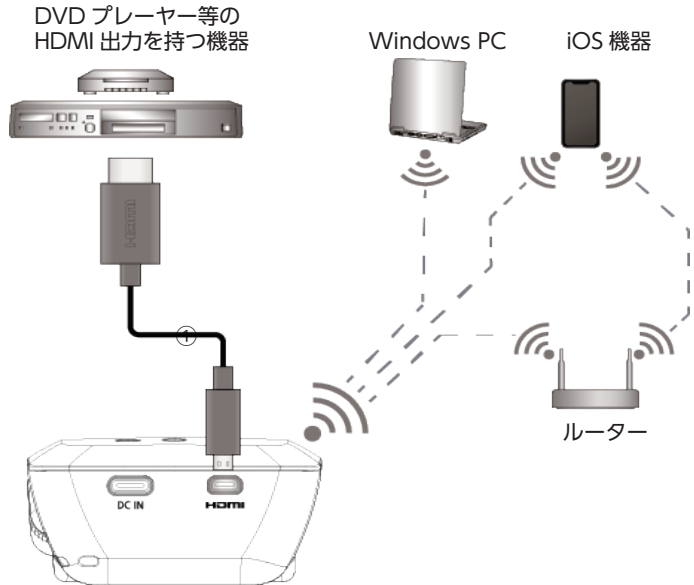


接続する

コンピューター/ノートパソコン・映像機器、および無線によるiOS/Windows機器と接続する

補足

- ❖ バッテリーによる投影を行う場合は AC アダプターの接続は不要です。
- ❖ AC アダプターを使用しても、投影中はバッテリーへの充電は行われません。
- ❖ AC アダプターのプラグが、壁コンセントに完全に差し込まれていることを確認してください。
- ❖ AC アダプターから本機の電源用タイプC端子まできちんと接続ができているか確認します。
- ❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。
- ❖ Micro-HDMI に変換するアダプタ (HDMI マイクロオス -HDMI メス) が同梱されています。必要に応じてご利用下さい。
- ❖ (*) USB A 出力の AC アダプターをお客様でご用意ください。AC アダプターは 5V 2A 以上の出力を持つものをご使用ください。



1..... HDMI ケーブル (ImagePointer 側は MicroHDMI)

- ❖ MicroHDMI 端子の向きを確認して接続してください
- ❖ 信号を正しく表示するために、接続するコンピューターの表示モード (解像度およびリフレッシュレート) が、本機に対応しているものであることを確認してください。(57 ページ参照)
- ❖ AC アダプターの接続を行うと、投影中の電源供給を AC アダプターから行うことができます。(投影中の充電はできません)



基本的な操作



電源の入れかたと切りかた

警告：ランプ点灯中はレンズをのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。

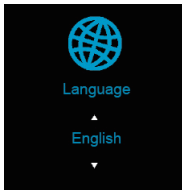
電源を入れる～HDMI接続

本機をHDMIケーブルで接続します。本機側端子はmicro-HDMI端子です。

1. 電源キーを2秒以上押します。電源キー周囲のLEDインジケータが青で点灯します。
2. 本機を最初に使用するときには言語設定画面が表示されます（左記補足参照）。表示言語を4方向キー[▲▼◀▶]で選んで投影/決定キー[↵]を押します。
3. 信号源の電源を入れます。
4. Inputキーを押して入力選択画面を表示させ、4方向キー[▲▼◀▶]でHDMIを選択して投影/決定キー[↵]を押します。Inputキーは長め(0.5秒以上)に押さないと反応しませんのでご注意ください。
5. 投影/決定キー[↵]を押すと、投影されます。映像が入力されていない場合、画面に入力先が表示されます。
6. フォーカスリングを回して手動でピントを合わせます。（フォーカスリングには可動範囲があります。範囲外に調整しようとすると回転が固くなります。その場合は逆回転させて可動範囲内に戻して下さい）

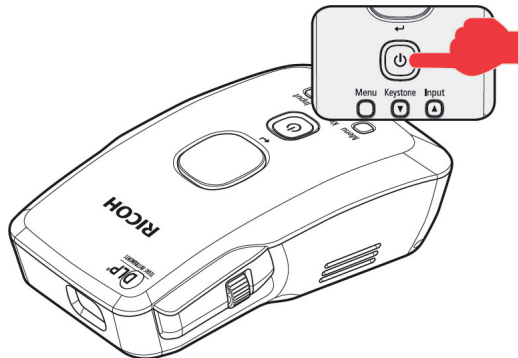
補足

※最初に電源を入れたときには言語選択画面が表示されます。



補足

※本機の電源を最初に入れてから信号源の電源を入れます。



基本的な操作



電源を入れる～iOS機器との接続(直接接続)

補足

※最初に電源を入れたときには言語選択画面が表示されます。

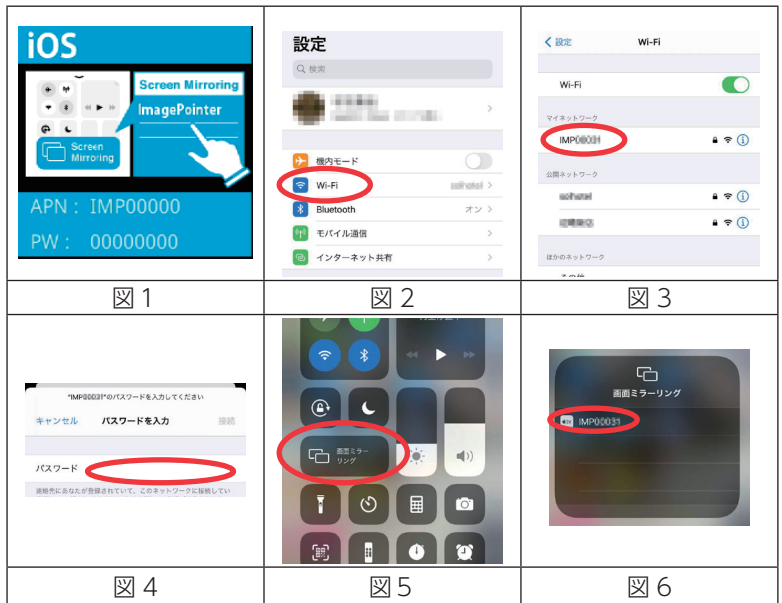


補足

※Inputキーは0.5秒以上押してください。

※iOS機器の操作方法についてはiOS機器の取扱説明書を参照してください。

1. 電源キーを2秒以上押します。電源キー周囲のLEDインジケーターが青で点灯します。
2. 本機を最初に使用するときは言語設定画面が表示されます(左記補足参照)。表示言語を4方向キー[▲▼◀▶]で選んで投影/決定キー[↵]を押します。
3. Inputキーを押して入力選択画面を表示させ、4方向キー[▲▼◀▶]でiOSを選択して投影/決定キー[↵]を押します。Inputキーは長め(0.5秒以上)に押さないと反応しませんのでご注意ください。
4. iOS機器側の設定を行います。設定→Wifiで、ImagePointerのアクセスポイント名とパスワードは投影/決定キー[↵]を押して投影状態にすると表示されます(図1)。iOS機器に表示されるImagePointerのアクセスポイント名にパスワードを入力してWiFi接続を行います。(図2、図3、図4)
5. iOS機器の画面ミラーリングを行います。ホーム画面で下から上へのスワイプや、右上から右下へのスワイプなどでコントロールセンターを表示させ、画面ミラーリングをタップします(図5)。表示されたImagePointerをタップすることで接続が行われます(図6)。
6. 投影/決定キー[↵]を押すと、投影されます。
7. フォーカスリングを回して手でピントを合わせます。(フォーカスダイヤルには可動範囲があります。範囲外に調整しようとすると回転が固くなります。その場合は逆回転させて可動範囲内に戻して下さい)





基本的な操作

電源を入れる～iOS機器との接続(ルーター経由での接続)

補足

❖ iOS 機器の操作方法については iOS 機器の取扱説明書を参照してください。

1. 本体操作部の電源キーを 1 秒以上押します。
電源キー周囲の LED インジケーターが青く光り、スタート画面が約 20 秒間表示されます。その後、画面表示が消えます。
2. Input キーを 0.5 秒以上押して入力選択画面を表示させます。▲▼キーで入力を iOS に変更して投影 / 決定キー[↵]を押します。
3. P48 の WiFi 設定のインターネットの設定を行います。
この設定により、本機とルーターが接続されます。
iOS 機器側の設定でルーターとの接続を行います。
4. 投影 / 決定キー[↵]の操作で画面が表示されます。iOS 機器と接続ができていないと画面左上に接続するためのデバイス名とパスワードが表示されます。
5. iOS 機器のコントロールセンター画面を表示し、“画面ミラーリング”をタップします。
6. 表示された ImagePointer との接続をタップして、ミラーリングを開始します。

基本的な操作

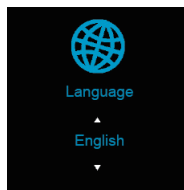


電源を入れる～Windows PC(※) との接続

※Miracastに対応しているWindows PCをお使いください。Miracastに対応していないWindows PCでは無線での映像接続はできません。その場合は有線(HDMI)での接続をお試しください。

補足

❖最初に電源を入れたときには言語選択画面が表示されます。

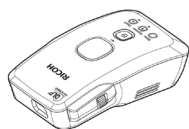


1. 電源キーを2秒以上押します。電源キー周囲のLEDインジケーターが青で点灯します。
2. 本機を最初に使用するときは言語設定画面が表示されます。表示言語を4方向キー[▲▼◀▶]で選んで投影/決定キー[↵]を押します。
3. Inputキーを押して入力選択画面を表示させ、4方向キー[▲▼◀▶]でAndroid(※)を選択して投影/決定キー[↵]を押します。Inputキーは長め(0.5秒以上)に押さないと反応しませんのでご注意ください。
※WindowsPCという表記ではありません。Androidという表記のものをお選びください。
4. 本機が画面ミラーリング可能な端末としてWindows PCから認識される状態になっています。本機をWindows PCから選択してミラーリングを開始してください。

☑Windows側の操作例は次ページに記載があります。

(OSのバージョンにより操作例とお使いの端末での操作が異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。)


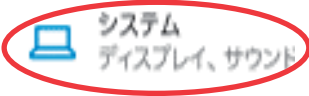

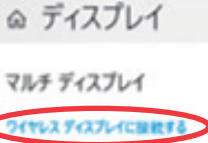

5. 投影/決定キー[↵]を押すと、投影されます。映像が入力されていない場合、画面に入力先が表示されます。
6. フォーカスリングを回して手動でピントを合わせます。(フォーカスリングには可動範囲があります。範囲外に調整しようとすると回転が固くなります。その場合は逆回転させて可動範囲内に戻して下さい)



基本的な操作

Windows PC接続操作例

- i. 設定を選択(図7)
- ii. システム→ディスプレイ→「ワイヤレスディスプレイ」を選択(図8,9,10)
- iii. ワイヤレスディスプレイ一覧からImage Pointer (IMPから表記が始まる)を選択して画面ミラーリングを開始(図11)

図7 	図8 
図9 	図10 
図11 	

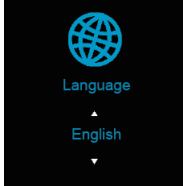


電源を入れる～Android機器との接続(弊社サポート対象外の機能※)

※Android機器との接続は弊社のサポート対象外の機能です。接続が出来ない場合においてもサポートは致しかねますのであらかじめご了承ください。

補足

❖最初に電源を入れたときには言語選択画面が表示されます。



本機をAndroid機器と無線接続します。Android機器側にMiracastの機能があることを確認してください。**Miracastの機能がないAndroid機器との接続はできません。**

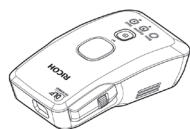
1. 電源キーを2秒以上押します。電源キー周囲のLEDインジケーターが青で点灯します。
2. 本機を最初に使用するときは言語設定画面が表示されます。表示言語を4方向キー[▲▼◀▶]で選んで投影/決定キー[↵]を押します。
3. Inputキーを押して入力選択画面を表示させ、4方向キー[▲▼◀▶]でAndroidを選択して投影/決定キー[↵]を押します。Inputキーは長め(0.5秒以上)に押さないと反応しませんのでご注意ください。
4. Android機器を操作し、本機とのMiracast接続を開始します。Android機器から本機は"IMP*****" (*****はシリアルNo.)と表示されます。Android機器上で本機を選択して接続を開始してください。
接続手順はお使いのAndroid機器により異なります。詳しくはご使用端末の取扱説明書を参照してください。以下に接続手順の例を記します。

例1) 設定→接続と共有→キャスト

例2) 設定→機器接続→接続の設定→スクリーンミラーリング

例3) 設定→接続済みのデバイス→接続の設定→キャスト
→ワイヤレスディスプレイの有効化

5. 投影/決定キー[↵]を押すと、投影されます。映像が入力されていない場合、画面に入力先が表示されます。
6. フォーカスリングを回して手動でピントを合わせます。(フォーカスリングには可動範囲があります。範囲外に調整しようとすると回転が固くなります。その場合は逆回転させて可動範囲内に戻して下さい)



基本的な操作

電源を切る

1. 電源キー 2 秒以上押すと、画面に以下のメッセージが表示されます。



2. 10 秒間 LED インジケーターが赤く点灯し、その後電源がオフになります。
本機の電源を再度入れるときは、LED が消灯してから（電源がオフになってから）再度電源キーを押してください。
3. 電源コード、AC アダプターをコンセントと本機から抜きます。



LEDインジケータの警告表示

LED インジケータは電源オン、オフの状況を示すだけでなく本機の異常の状態も表示します。正常時の表示含めたLEDの表示内容は、下表に示す通りとなります。

色	動作	状態
赤	点滅	バッテリーの充電中です。 充電が終了すると消灯します。
赤	点灯	電源がオフになるときに点灯します。 10 秒点灯後に消灯し、電源がオフになります。
青	点灯	電源がオンの時に点灯します。 投影を開始すると消灯します。 投影を停止すると再度点灯します。
青	点滅 1 秒オン / 1 秒オフ	電源がオンの状態でバッテリーの残量が 25% 以下になると投影の状態にかかわらず青点滅となります。
青	点滅 0.2 秒オン / 1 秒オフ	電源がオンの状態でバッテリーの残量が 5% 以下になると投影の状態にかかわらず短い青点滅となります。AC アダプターの接続を考慮してください。
紫	点滅 1 秒間に 2 回点灯	充電池エラーです。
紫	点滅 1 秒間に 3 回点灯	温度エラーです。
紫	点滅 1 秒間に 4 回点灯	内部エラーです
—	不点灯	投影中 / 電源オフ状態 / 充電終了

本機に異常が発生した時は、本機は電源を切る動作を行います。紫 LED の異常表示は、電源が切れる 10 秒間表示します。その際画面にも異常の内容が表示されます。

異常発生時は使用を中止し、問い合わせメール窓口に連絡してください。

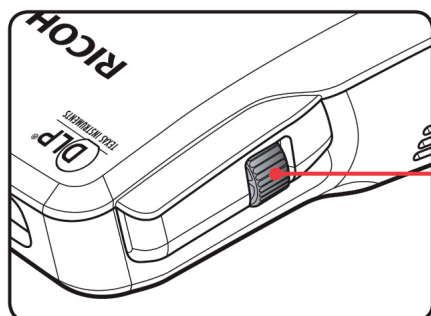


基本的な操作

投写映像を調整する

画面のピントを調整する

画像の焦点を手動で合わせるには、フォーカスリングを手で回転してください。ピントが合う距離は 0.6 ~ 1.96m です。(フォーカスリングには可動範囲があります。範囲外に調整しようとするすると回転が固くなります。その場合は逆回転させて可動範囲内に戻して下さい)



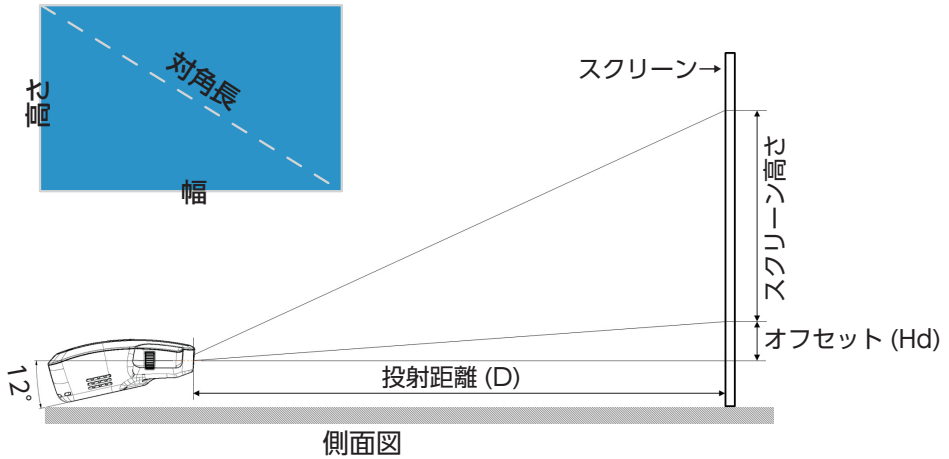
フォーカスリング

基本的な操作



投写映像の大きさを調整する

▶ 投写映像サイズ 25~80 型



補足

❖ 図中の 12° はレンズの光軸と三脚ねじ穴面との角度を示します。

画面サイズ (型) 16:9	画面サイズ 幅×高さ		投射距離 (D)	オフセット (Hd)
	(m)			
	Width	Height	(m)	(cm)
25	0.55	0.31	0.61	0
30	0.66	0.37	0.73	0
40	0.89	0.50	0.97	0
50	1.11	0.62	1.22	0
60	1.33	0.75	1.46	0
80	1.77	1.00	1.96	0

❖ 参考値



各種設定のしかた

メニューを使う

メニューを表示させて、映像などの調整や、各種設定の変更ができます。

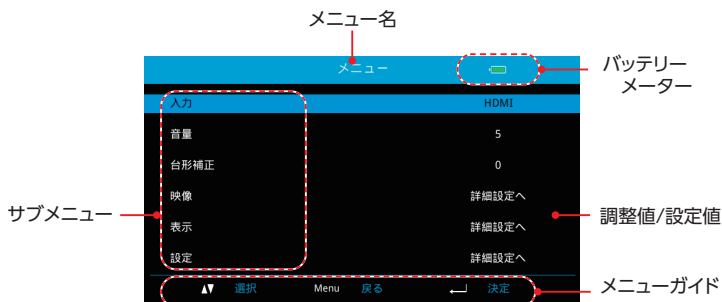
操作のしかた

1. 本体の [Menu] キーを 0.5 秒以上押してメインメニューを表示します。
2. 左側に表示されている項目から 4 方向キー [▲▼◀▶] で調整したい項目を選び投影 / 決定キー [↵] を押して 4 方向キー [▲▼◀▶] で設定値を変更し、投影 / 決定キー [↵] で確定します。
右側に " 詳細設定へ " と表示されている項目は、その項目を選び投影 / 決定キー [↵] を押すことにより、一つ下の階層のサブメニューが開きます。
3. サブメニューでも同様に調整 / 設定ができます。
上の階層に戻るには、Menu キーを押します。
サブメニューにも、もう一つ下の階層のサブメニューがあり、同様の操作でサブメニュー間の移動ができます。
4. 調整 / 設定を終了するには、メインメニューが表示されているときにもう一度 Menu キーを押して、メニューを消します。

補足

❖ 投影がオフの状態でも、Menu, Keystone, Input を押した場合投影がオンとなります。

❖ 約 10 秒間ボタンの操作をしないと、メニューは自動的に消えます。



各種設定のしかた



メニュー項目一覧

メインメニュー	第2レベル	第3レベル	設定範囲	初期値	
入力		HDMI	HDMI		
		Android			
		iOS			
音量		0~10	5		
台形補正		-20~20	0		
映像	映像モード	標準	標準		
		写真/動画			
		鮮やか			
	明るさ		0~50	25	
	コントラスト		0~50	25	
	アスペクト	自動	自動		
		4:3			
		16:9			
		16:10			
	色温度	高	中		
中					
低					
カラースペース	自動	自動			
	RGB				
	YCbCr				
表示	投影	標準	標準		
		左右反転			
		上下反転			
		上下左右反転			
	連続投影	ボタン押下時のみ	1クリック		
		1クリック			
		ダブルクリック			
		5秒以上押下			
		常時投影			



各種設定のしかた

メインメニュー	第2レベル	第3レベル	設定範囲	初期値
設定	言語		日本語	日本語
			English (英語)	
			Deutsch (ドイツ語)	
			Français (フランス語)	
			Italiano (イタリア語)	
			Español (スペイン語)	
			Português (ポルトガル語)	
			Polski (ポーランド語)	
			Nederlands (オランダ語)	
			Русский (ロシア語)	
			Svenska (スウェーデン語)	
			中文 (繁) (中国語繁体字)	
			中文 (簡) (中国語簡体字)	
			Türkçe (トルコ語)	
		ไทย (タイ語)		
		العربية (アラビア語)		
		Dansk (デンマーク語)		
		スリープタイマー	オフ	10
			5 / 10 / 15 (分)	
		WiFi設定	インターネット	(インターネットアクセスポイント設定へ)
	パスワード		(パスワード設定画面へ)	00000000
	デバイス名		(デバイス名設定画面へ)	"IMP"+SN下五桁
	5GHz通信		オン/オフ	オフ
	ユーザーロゴ		(画像選択画面へ)	なし(黒)
	ファームウェア更新		(ファームウェアの更新を行います)	
	ファームウェアバージョン		(ソフトウェアのバージョンを表示します)	
	リセット		(工場出荷時の状態に戻します)	

各種設定のしかた



メインメニュー

入力

入力映像を切り替えます。4方向キー [▲▼◀▶] で項目を選択します。

- ▶ HDMI：HDMI 入力を選択します。
- ▶ Android：WiFi で Android 機器と接続します。
- ▶ iOS：WiFi で iOS 機器と接続します。

音量

音量を調整します。

- ▶ ▼ を押すと、音量が下がります。
- ▶ ▲ を押すと、音量が上がります。

台形補正

本体の傾きによって起こる台形歪みの補正ができます。

▲ または ▼ を押して、映像の垂直方向のゆがみを調整します。映像が台形に歪んでいる場合は、映像のゆがみを軽減できます。

映像

映像サブメニューを表示します。

表示

表示サブメニューを表示します。

設定

設定サブメニューを表示します。



各種設定のしかた

映像	
映像モード	標準
明るさ	25
コントラスト	25
アスペクト	自動
色温度	中
カラースペース	自動

映像

映像モード

映像モードを選択します。4方向キー [▲▼◀▶] で項目を選択します。

- ▶ 標準：PC画面表示やプレゼンテーションに適したモードです。中間調を明るくし、全体的に見やすい画面となります。
- ▶ 写真 / 動画：色再現空間を sRGB に近づけたモードです。写真や動画をもとの色に近い色で投影ができます。周囲の明るさが暗いときに色を忠実に出す設定にしています。
- ▶ 鮮やか：色の彩度をあげたモードです。色味の強い映像を出したいときや周囲が明るい場合で使用すると鮮やかな映像を出すことができます。

補足

❖ 投射映像は周囲の明るさ、周囲の照明色、投影壁面の色により見える色味が変わってきます。投影する環境に合わせて、映像メニューの項目で調整してください。周囲の明るさが明るいときには“鮮やか”に照明色や壁色が青系の場合は色温度を“低”に、赤系の場合は色温度を“高”に設定すると、発色は良くなります。

明るさ

明るさを調整します。4方向キー [▲▼◀▶] で調整します。

- ▶ ▼ で映像を暗くします。
- ▶ ▲ で映像を明るくします。

コントラスト

映像の最も明るい部分と暗い部分の輝度の差を変更して、映像に含まれる黒と白の強さを調整することができます。

- ▶ ▼ でコントラストを弱くします。
- ▶ ▲ でコントラストを強くします。

アスペクト

- ▶ 自動：適切な画面のアスペクト比を自動的に選択します。入力信号が 4:3 の時はアスペクト比 4:3 の映像を、16:9 またはそれ以上の時はアスペクト比 16:9 の映像を表示します。
- ▶ 4:3：アスペクト比 4:3 で表示します。
- ▶ 16:9：アスペクト比 16:9 で表示します。(HDTV や DVD からの映像を表示するときを選びます)
- ▶ 16:10：アスペクト比 16:10 で表示します。

補足

❖ 入力信号により、調整できない項目があります。

色温度

投影する映像の色温度を変更します。

各種設定のしかた



補足

❖ カラースペースは HDMI 入力時のみ有効です。

- ▶ 高：色温度を高くします。(寒色系の映像になります)
- ▶ 中：色温度を中程度に設定します。
- ▶ 低：色温度を低くします。(暖色系の映像になります)

カラースペース

投影する映像のカラースペースを自動、RGB,YCbCr から選択します。通常は自動にしてください。



各種設定のしかた



表示

投影

プロジェクターの投射向きに合わせて設定します。
プロジェクターの投射向きに対して文字が正しく見える条件に設定してください。

- ▶ **標準**
工場出荷時の初期設定です。映像が画面に正立して投写されます。
- ▶ **左右反転**
映像の左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側から投影するときに使用します。
- ▶ **上下反転**
映像の上下が反転して投写されます。
- ▶ **上下左右反転**
映像の上下左右が反転して投写されます。

連続投影

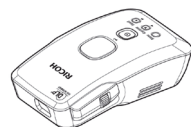
ImagePointer は投影 / 決定キー [↵] を押すことで投影状態と非投影状態を切り替えます。この切り替えの動作を変更します。

- ▶ **ボタン押下時のみ**： 投影 / 決定キー [↵] を押している間だけ投影します。キーを離すと投影を中止します。
- ▶ **1クリック**： キーを1クリックすると連続投影されます。キーを押している間の投影もできます。再度1クリックすることで投影を中止します。ボタン長押し時はボタン押下時のみの動作となります。
- ▶ **ダブルクリック**： キーをダブルクリックすると連続投影されます。キーを押している間の投影もできます。1クリックすると投影を中止します。ボタン長押し時はボタン押下時のみの動作となります。
- ▶ **5秒以上押下**： キーを5秒以上押していると、連続投影に移行します。1クリックで投影を中止します。5秒以内はボタン押下時のみの動作と同じ動作をします。
- ▶ **常時投影**： 投影 / 決定キー [↵] の操作は不要で、常に映像

補足

- ❖ 投影を中止すると音声も出なくなります。
- ❖ 本機への映像入力は継続しています。動画再生等、必要に応じて映像送信側で停止するなどを行ってください。

各種設定のしかた



が投影されます。

各連続投影の動作は以下のようになります。

連続投影	投影オン	投影オフ	投影 / 決定キー [↵] 長押し
ボタン押下時のみ	ボタンを押す	ボタンを離す	—
1クリック	1クリック	1クリック	ボタン押下時のみと同じ動作
ダブルクリック	ダブルクリック	1クリック	ボタン押下時のみと同じ動作
5秒以上押下	5秒以上押す	1クリック	5秒以内はボタン押下時のみと同じ動作
連続投影	操作不要 (常時投影)	なし	—



各種設定のしかた



設定

言語

メニューの表示言語を選択します。4方向キー[▲▼◀▶]で言語を選択します。

スリープタイマー

入力信号がない状態で無操作の場合に自動で電源が切れます。電源が自動的に切れるまでの時間(分)を設定します。

Wifi設定

Wifi 設定画面を表示します。

ユーザーロゴ

本機に登録した映像を無信号の背景画像に登録します。本機への画像の登録は P49 を参照して下さい。

投影 / 決定キー [↵] を押した後に表示される画像リストから背景画像に登録する画像を 4 方向キー [▲▼◀▶] で選択して、投影 / 決定キー [↵] を押して下さい。信号が入力されるまで、登録した画像が表示されます。

ファームウェア更新

ファームウェアを更新する際は Wifi 設定でインターネットに接続したのちに実行して下さい。

なお、更新を行う必要がある場合は製品公式ページにてご案内を致します。更新を行う必要がない場合は実行しないでください。

ファームウェアバージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

リセット

調整と設定を工場出荷時の初期設定値に戻します。「はい」を選択すると、全てのメニュー項目の設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

この設定をリセットしますか？

「はい」を選択すると再起動します

はい

いいえ

補足

❖ ファームウェア更新時は本機を十分充電してから実行して下さい。充電が不十分な場合、以下のメッセージが表示され、ファームウェア更新を中止します。

充電してください

各種設定のしかた



Wifi設定

インターネット

本機をアクセスポイントに接続します。ルーター経由での投影やファームウェアのバージョンアップのためのインターネット接続を可能にします。

ルーターとの接続をするためには、本機の入力を”HDMI”か”iOS”に切り替えます。入力がAndroid端末となっていると接続できません。

アクセスポイントの一覧が表示されます。その中で接続したいアクセスポイントを上下キーで選択して投影/決定キー[↵]を押します。

そのアクセスポイントのパスワードを入力します。

OKを実行することで、アクセスポイントとの接続が完成します。

削除を実行することで、アクセスポイントとの接続を消去します。

パスワード

本機のパスワードを設定します。初期値は00000000です。任意の8桁の数字を入力します。

デバイス名

本機のデバイス名を変更します。初期値は”IMP”に次ぐシリアル番号の下5桁となります。最大10桁の入力ができます。

5GHz

本機で5GHz帯の通信を行うかどうかを設定します。日本国内では屋外での5GHz帯の通信には制限があります。(詳しくは総務省の電波利用ホームページを確認してください)

本機のデフォルトの設定では、5GHz帯の電波の使用をオフに設定しています。

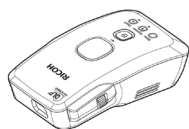
本機を使用する場所で5GHz帯の使用が可能かどうか判断いただき、設定を変更してください。

※この設定値は記憶されますので、使用場所を変更した際には都度5GHzの使用可否判断をして、設定を変更してください。

設定を変更すると、本機は再起動します。

補足

本機の入力を”HDMI”か”iOS”に切り替えます。



各種設定のしかた

ユーザーロゴ画面の設定

補足

❖ Jpeg 画像以外は表示できません。

❖ 表示可能な最大画素は

8000 × 6000(ベースライン Jpeg)、1600 × 1200(プログレッシブ Jpeg) です。

❖ ユーザーロゴは合計 11 MB まで登録できます。

❖ ユーザーロゴに使用するファイル名には \/:?*"<>| を使用しないでください

本機では、無信号時に表示できるユーザーロゴ背景を登録、表示できます。本章ではユーザーロゴの画像を本機に登録する方法をお知らせします。登録した画像をユーザーロゴとして使用するためにはP47のユーザーロゴの項目の作業を行います。

登録できる画像はjpgのみです。

登録した画像は、画面の縦横比と異なる分は上下、左右のどちらかに無画像領域が追加されます。また、画面の解像度に合わせて、サイズ変更されます。画面サイズ全面での表示を行う場合864×480ピクセルにサイズ変更したうえで画像を登録してください。

画像登録のために、本機とPCその他との直接接続を行います。直接接続する場合は本機の入力を”HDMI”か”iOS”に切り替えます。入力がAndroid端末となっていると接続ができません。

補足

❖ 本機の入力を”HDMI”か”iOS”に切り替えます。

WindowsPCから

1. PC と本機を WiFi 接続します。本機の APN, パスワードを入力して WiFi 接続を行います。
2. PC で、エクスプローラーを起動します。エクスプローラーのアドレスバーに、"ftp://192.168.168.1" を入力して Enter キーを押します。最初に接続するとき、再度 APN とパスワードの入力を行います。
3. 登録したい画像をこのフォルダにコピーします。
4. 本機と PC との WiFi 接続を終了します。

補足

❖ 本機の入力を”HDMI”か”iOS”に切り替えます。

❖ アプリの操作については OS、アプリのバージョンや機種により異なる場合があります。アプリに関しては当社サポート範囲外となります。

iOS機器から

1. iOS 機器と本機を WiFi 接続します。iOS 機器から本機に投影するときの手順の WiFi 接続を行います。iOS 機器で FTP 転送アプリを起動します。FTP 転送アプリは任意のものを利用してください。

以下では、"iFTP pro" という FTP 転送アプリを使用した場合の手順を示します。

アプリを起動すると図 1 の画面が表示されるので "+" をタップして新規接続設定を行います (図 2)。

各種設定のしかた

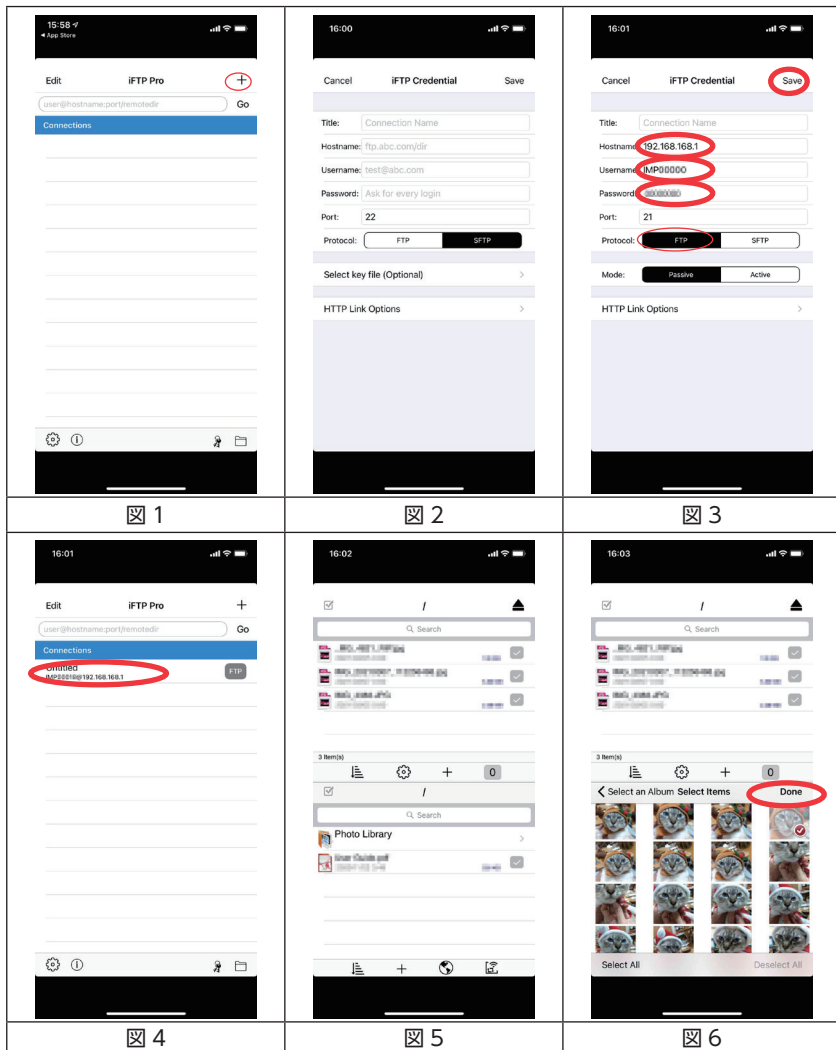


図 1

図 2

図 3

図 4

図 5

図 6

FTP ホスト名に 192.168.168.1
Username に本機のアクセスポイント名称 (デフォルトは "IMP"+ 数字 5 桁)、Password に本機のパスワード (デフォルトは 0000000)、Protcol に FTP を選択して "Save" を押します。(図 3)

2. 表示された接続をタップします。(図 4)



各種設定のしかた

- 画面下側に iOS 機器の画像一覧が表示されます。(図 5) ここから画像を選択して "Done" を押すことで、本機へ画像をアップロードします。図では PhotoLibrary のフォルダの中から画像を選択しています。(図 6)
- アップロードが完了したら本機と iOS 機器との WiFi 接続を終了します。

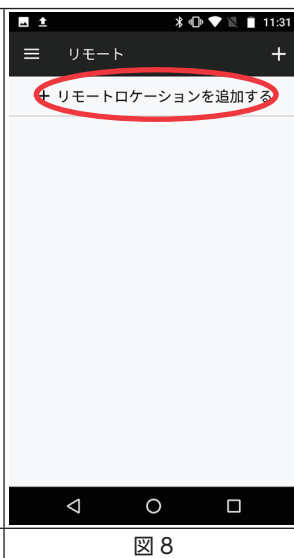
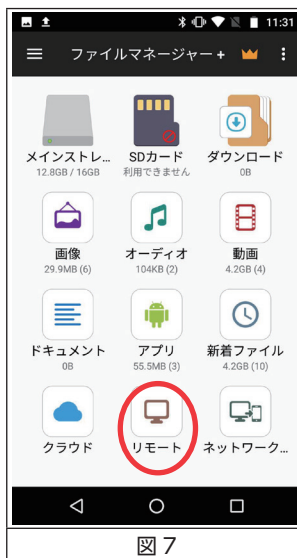
Android機器から

- Android 機器と本機を WiFi 接続します。Android 機器の設定→WiFi から、本機を選択し、パスワードを入力します。
- Android 機器でファイル管理アプリを起動します。ファイル管理アプリは任意のものを利用してください。以下では、"ファイルマネージャー" というアプリを使用した場合の手順を示します。図 7 はファイルマネージャーを起動したときの画面です。この中の"リモート" をタップすると図 8 の画面となり、"リモートロケーションを追加する" をタップします。図 9 の画面で、"FTP" を選択します。
- FTP ホスト名に 192.168.168.1 ユーザー名に本機の APN (デフォルトは "IMP"+ 数字 5 桁)、パスワードに本機のパスワード (デフォルトは 00000000) を入力して OK をタップします。(図 10)
- リモートの部分に" (1) " と接続が追加されていることを確

補足

❖ 本機の入力を "HDMI" か "iOS" に切り替えます。

❖ アプリの操作については OS、アプリのバージョンや機種により異なる場合があります。アプリに関しては当社サポート範囲外となります。



各種設定のしかた



図 10



図 11

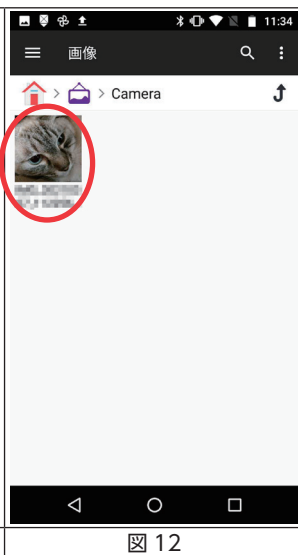


図 12

認めます。(図 11)

5. 任意のフォルダ（通常は画像）から転送する画像を選択します（図 12）。転送したい画像を長押しすると画面下側にメニューが出るので、コピーをタップします。（図 13）
6. 初期画面に戻り、リモートから FTP に入った画面で画面下の「貼り付け」をタップします。（図 14）画像の転送が始まります。（図 15）終了後本機と Android 機器の WiFi 接続を解除します。

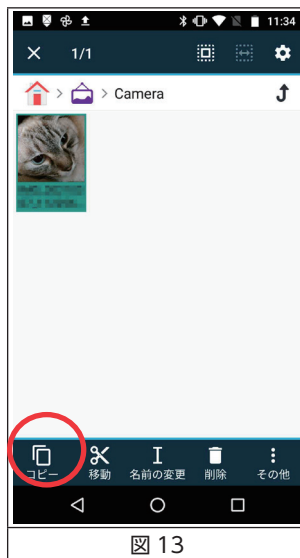


図 13

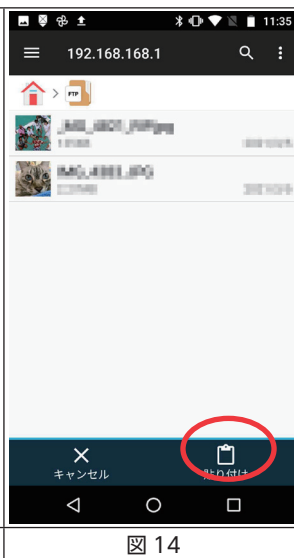


図 14

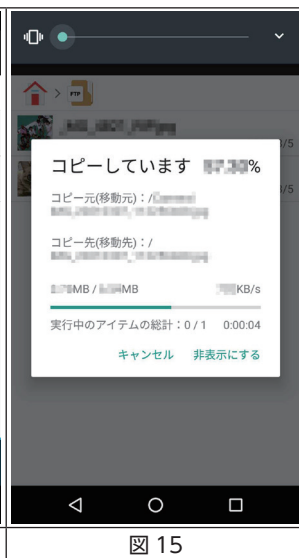


図 15



故障かな・・・と思ったときは

本機のトラブルが発生したら、次の情報を参照してください。症状が改善されないときは、問い合わせメール窓口まで連絡してください。

症状：画面に映像が出ない

- ▶ すべてのケーブルや電源の接続に間違いがなく、「基本的操作」の章で示されたようにしっかりと接続されているか確認します。
- ▶ コネクターのピンが曲がっていたり壊れたりしていないか確認します。
- ▶ 本機の電源が入っているか確認します。
- ▶ 投影状態となっているか確認します。投影 / 決定キー[↵]を押して映像が出るか確認します。
- ▶ 画面に接続待機の表示がある場合は本機と信号源の接続ができていません。接続方法を確認してください。

症状：映像が部分的に映る、スクロールするまたは正常に映らない

- ▶ 表示解像度が対応信号一覧に含まれているか確認します。詳細については、使用しているオペレーティング・システムのヘルプファイルを参照してください。
- ▶ 解像度の変更がうまくいかなかったり、モニターがフリーズしたりするときは、本機を含めたすべての機器を再起動してください。



症状：映像のピントが合わない

- ▶ スクリーンまでの距離が所要の範囲内であることを確認します。
(35～36 ページを参照)

症状：DVD を表示するとき映像が引き伸ばされる

メニューの「映像」→「アスペクト」を選択して、映像が適切なアスペクト比で表示されるよう調整します。

症状：映像が小さすぎる、または大きすぎる

- ▶ 本機をスクリーンに近づけるか、スクリーンから離します。
- ▶ メニューの「映像」→「アスペクト」で別の設定を試みます。
- ▶ 入力を切り替えて、再度選びなおします。

症状：映像が暗い、または白飛びする

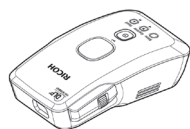
- ▶ 映像データが暗すぎたり、白飛びしていないか確認します。
- ▶ メニューの「映像」→「明るさ」「コントラスト」を標準の設定(25)に戻したのち、再度映像の調整を行ってください。
- ▶ 投影環境が明るいと、映像が極端に暗く(見えにくく)なります。投影環境を暗くしてください。

症状：映像の上下左右が正しく表示されない

- ▶ メニューの「表示」→「投影」で、映像の表示方法を選択します。

症状：AC アダプターを使用している投影中に電源が切れる

- ▶ 使用している AC アダプターの最大電流が少ない可能性があります。2 A 以上の供給能力のある AC アダプターを使用してください。



故障かな・・・と思ったときは

症状：インジケータの点灯によるメッセージ

色	動作	状態
赤	点滅	バッテリーの充電中です。 充電が終了すると消灯します。
赤	点灯	電源がオフになるときに点灯します。 10秒点灯後に消灯し、電源がオフになります。
青	点灯	電源がオンの時に点灯します。 投影を開始すると消灯します。 投影を停止すると再度点灯します。
青	点滅 1秒オン / 1秒オフ	電源がオンの状態でバッテリーの残量が25%以下になると投影の状態にかかわらず青点滅となります。
青	点滅 0.2秒オン / 1秒オフ	電源がオンの状態でバッテリーの残量が5%以下になると投影の状態にかかわらず短い青点滅となります。ACアダプターの接続を考慮してください。
紫	点滅 1秒間に2回点灯	充電電池エラーです。 10秒間表示したのち電源がオフになります。
紫	点滅 1秒間に3回点灯	温度エラーです。 10秒間表示したのち電源がオフになります。
紫	点滅 1秒間に4回点灯	内部エラーです。 10秒間表示したのち電源がオフになります。
—	不点灯	投影中 / 電源オフ状態 / 充電終了

紫色のインジケータ表示が出るときは本機の異常が発生しています。

症状：インジケータ表示

- ❖ 紫点滅（1秒間に2回点灯）本機の充電電池に異常が発生しています。使用を中止し、問い合わせメール窓口へ連絡してください。

警告。バッテリー異常

故障かな・・・と思ったときは



- ❖ 紫点滅（1秒間に3回点灯）本機の内部が過熱しています。環境温度が高い場合過度な温度上昇を防ぐために電源がオフになります。本機が十分冷めるまで使用を中断してください。環境温度が高くなく、繰り返し発生する場合は使用を中止し問い合わせメール窓口へ連絡してください。

警告。温度異常

- ❖ 紫点滅（1秒間に4回点灯）その他の本機のエラーが発生しています。使用を中止し、問い合わせメール窓口へ連絡してください。

警告。不明なエラー



対応信号一覧表

HDMIデジタル			
PC信号			
モード	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (Hz)
VGA	640 x 480	60	31.5
SVGA	800 x 600	60	37.9
XGA	1024 x 768	60	48.4
SXGA	1280 x 1024	60	64
QVGA	1280 x 960	60	60
SXGA+	1400 x 1050	60	65.3
	1920 x 1080	60	67.5
コンポーネント信号			
480i	1440 x 480	59.94	15.7
576i	1440 x 576	50	15.6
480p	640 x 480	59.94	31.5
	720 x 480	59.94	31.5
576p	720 x 576	50	31.3
720p	1280 x 720	60	45
	1280 x 720	50	37.5
1080i	1920 x 1080	60	33.8
	1920 x 1080	50	28.1
1080p	1920 x 1080	23.98/24	27
	1920 x 1080	60	67.5



仕様

・一般仕様一覧

項目		モデル名
		RICOH ImagePointer GP01
DLP チップ		0.2" FVWGA
光源		RGB LED
光源寿命		20,000 時間
投写レンズ		手動フォーカス
投写距離 (フォーカス範囲)		0.61~1.96m
投写サイズ (型)		25~80
スローレシオ (距離 / 幅)		1.1
寸法 (幅×高さ×奥行)		69.8(W) x 38.0(H) x 111.0(D) mm
質量		205g ± 10g
入力端子	HDMI入力コネクタ	microHDMI 1.4、TypeDコネクタ HDCP1.1
	USBタイプC電源コネクタ	電源入力
無線通信	無線映像投影対応OS	iOS *1、Windows 10/11*2
	周波数帯域	2.4GHz / 5GHz (5GHzはオンオフ可能)
	規格	IEEE 802.11n/ac
スピーカー		0.8 W (モノラル)
騒音		— (ファン等騒音発生物がないため測定不能)
消費電力		最大10W
連続投影時間	バッテリー	80分*3
	AC アダプター	時間制約なし*4
バッテリー充電時間		120分*5
画素数		409,920(854x480)
		45lm*6
		300:1*6
動作/保管環境		<ul style="list-style-type: none"> 動作温度:5~35℃ 湿度:20~80%(結露なし) 保管温度:-30~65℃ 湿度:20~80%(結露なし)

*1 著作権保護技術で保護されたコンテンツは再生が出来ないことがございます。また将来のiOSのアップデートに対して接続性を保証するものではありません。

*2 Miracastに対応したPCのみサポート。(対応していない場合はHDMI接続をお試しください)

*3 バッテリーによる投影時間は以下の条件で測定した目安であり、保証するものではありません。バッテリーの使用状況他で投影時間は変化します。

バッテリーの状況が新品に近い

バッテリーがフル充電である

環境温度は 25℃

動画をボリューム 10 で連続投影

*4 動作環境温度が高い場合内部の温度が上昇して投影が中断する場合があります。

*5 2A の出力を持つ AC アダプターを用いたときの標準的な時間の目安です。

*6 ※6 出荷時における本製品の全体的な平均値で、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しており、測定方法・測定条件については、附属書に基づいています。

・設計、仕様などは予告なく変更することがあります。
・本機は新しく追加された機能および/または仕様に対応しないことがあります。



本機の廃棄について

- ・本機はリチウムイオン電池を使用しています。本機を廃棄する場合、以下の手順に従って、リチウムイオン電池を取り外し、資源保護のため、不要になった電池は取り外し充電式電池リサイクル協力店までお持ちください。

分解に必要なもの

精密＋ドライバー

精密－ドライバー

ビニール手袋（分解の作業時にビニール手袋をして作業してください）

1. バッテリーを放電させる

本機の電源を入れて、投影をした状態にし、バッテリーの残量がなくなり電源が切れるまで放置してください。

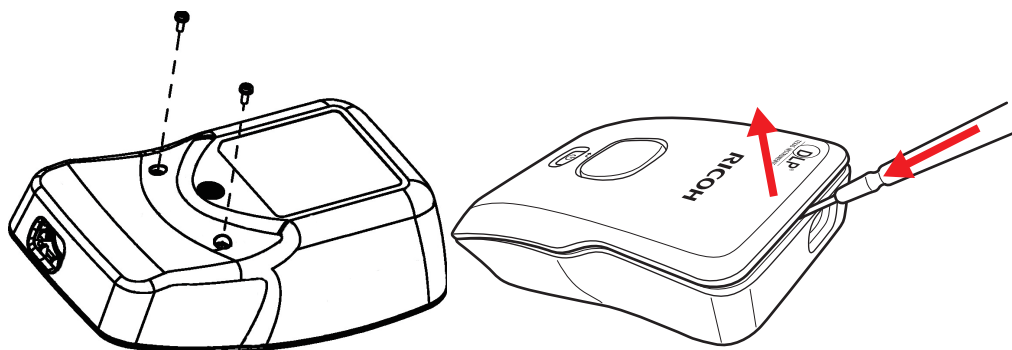
その後、本機の温度が十分下がるまで放置してください。

2. 上下の外装カバーを分離する。

本機の底面の2か所のねじを精密＋ドライバーで外します。

図のようにレンズに近い部分の上下の外装カバーの隙間に精密マイナスドライバーをこじ入れ、上下のカバーを分離します。

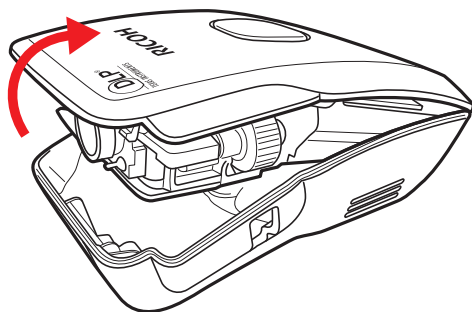
マイナスドライバーをカバーの周囲に沿って動かすことで外装カバーを分離しやすくなります。



3. 下カバーを取り外す。

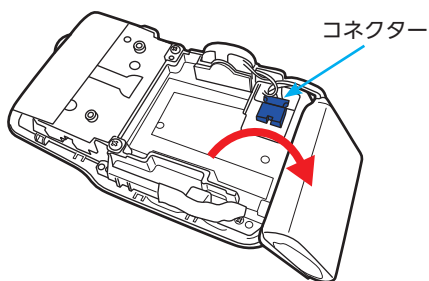
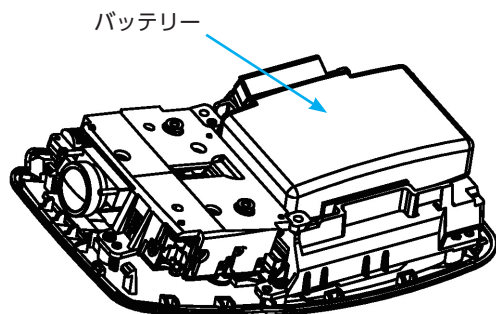
上カバーを持って、内部のユニットごと下カバーから外します。

フォーカスリングの部分を逃がしながら上方に持ち上げることでカバーを取り外ししやすくなります。



4. バッテリーを取り外す

本機の下側にバッテリーが装着されています。バッテリーを持ち上げるとバッテリーを接続しているコネクターがありますので、コネクターを外して、バッテリーを取り外します。



取り外した電池は充電式電池リサイクル協力店までお持ちください。最寄りのリサイクル協力店についての詳細は一般社団法人 JBRC のホームページをご覧ください。

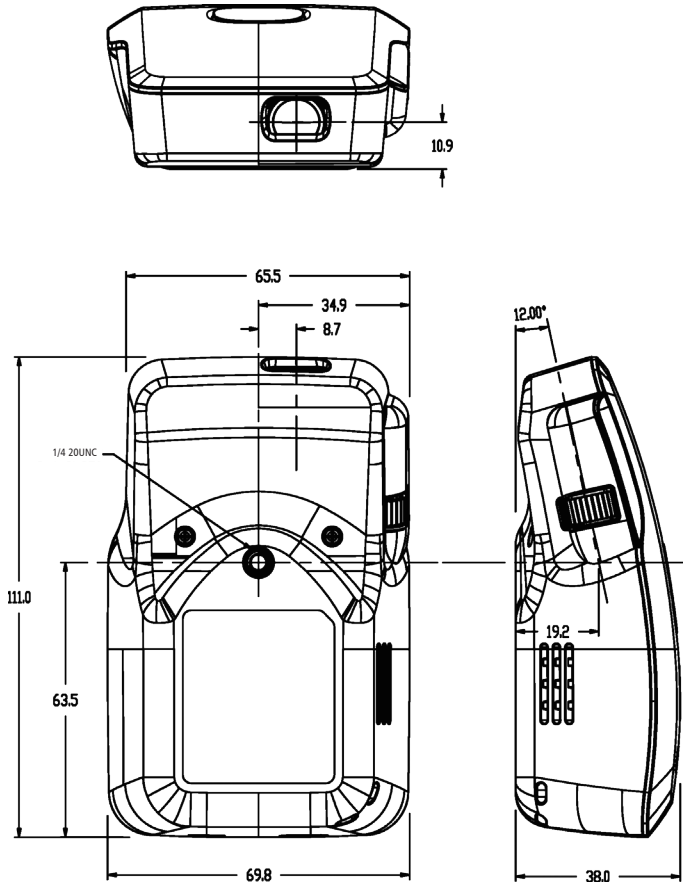
<http://www.jbrc.com>

※ここに書かれていることは予告なく変更されることがあります。



外形寸法

单位: mm





商標

- DLPはテキサス・インスツルメンツの登録商標です。DLP Linkはテキサス・インスツルメンツの商標です。
- IBMは、米国 International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintosh、Mac OS X、iMac、Airplay、AppleTVおよびPowerBookは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています
- Google、Google Play、Android、YouTube、Gmailは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Incの商標または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi CERTIFIED Miracast®、Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Blu-rayはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- USB Type-C™及びUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555

<http://www.ricoh.co.jp/>



■ 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

保証期間は、納入後1年となっております。

万一故障した場合には、納品日から満1年間無償で修理致します。

弊社問い合わせメール窓口にご連絡ください。

保証期間以降の修理は、有料とさせていただきます。

弊社問い合わせメール窓口にご連絡ください。

本製品は、補修用性能部品がなくなった場合、修理をお受けできない場合がございます。

問い合わせメール窓口 zjc_ricoh_image_pointer_support@jp.ricoh.com

弊社サービス窓口へお届けいただく諸費用は、お客様負担となります。

週末や週明け、祝日前後、また年末年始にいただきますお問い合わせに関しては、

ご回答が遅れる場合がございますので、あらかじめご了承下さいますようお願い申し上げます。

■ 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、弊社問い合わせメール窓口にお問い合わせください。

問い合わせメール窓口 zjc_ricoh_image_pointer_support@jp.ricoh.com